

ケビン・メア米国務省日本部長の沖縄県民を愚弄した発言に対する意見書

ケビン・メア米国務省日本部長が米大学生相手に行った講義で「沖縄県民はごまかしとゆすりの名人で怠惰」との発言報道は沖縄県民並びに日本国民の誇りと尊厳を傷つけるものであり、強い怒りが広がっている。

米軍統治下でさえ、これほど偏見に満ちた侮辱的な沖縄観は表明された事がない。また世界一危険な普天間飛行場についても「特別に危険ではない」などと発言している。

この事は昨年4月25日に読谷村で開催された県民大会において示された「普天間基地の閉鎖・撤去」の県民総意に挑戦する占領意識そのものの表れである。

戦後65年間、今なお過重な基地負担を強いられている沖縄県民を愚弄し、侮辱するメア米国務省日本部長の発言は断じて容認できない。

メア米国務省日本部長は在沖米国総領事時代も沖縄に対して差別的な発言を繰り返し反発を招いてきた。

外交の常識では、相手国を侮辱すれば決して両国の正常な関係は保てない。

よって、読谷村議会は日本政府に対し、メア米国務省日本部長による差別的で、沖縄を植民地扱いしている発言に対して、厳重に抗議し、発言の撤回及び謝罪、そして解任を強く要求する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年3月9日
沖縄県読谷村議会

あて先

内閣総理大臣 外務大臣 沖縄及び北方対策担当大臣

ケビン・メア米国務省日本部長の沖縄県民を愚弄した発言に対する抗議決議

ケビン・メア米国務省日本部長が米大学生相手に行った講義で「沖縄県民はごまかしとゆすりの名人で怠惰」との発言報道は沖縄県民並びに日本国民の誇りと尊厳を傷つけるものであり、強い怒りが広がっている。

米軍統治下でさえ、これほど偏見に満ちた侮辱的な沖縄観は表明された事がない。また世界一危険な普天間飛行場についても「特別に危険ではない」などと発言している。

この事は昨年4月25日に読谷村で開催された県民大会において示された「普天間基地の閉鎖・撤去」の県民総意に挑戦する占領意識そのものの表れである。

戦後65年間、今なお過重な基地負担を強いられている沖縄県民を愚弄し、侮辱するメア米国務省日本部長の発言は断じて容認できない。

メア米国務省日本部長は在沖米国総領事時代も沖縄に対して差別的な発言を繰り返し反発を招いてきた。

外交の常識では、相手国を侮辱すれば決して両国の正常な関係は保てない。

よって読谷村議会は、メア米国務省日本部長による差別的で、沖縄を植民地扱いしている発言に対して厳重に抗議し、発言の撤回及び謝罪、そして解任を強く要求する。

以上、決議する。

平成23年3月9日
沖縄県読谷村議会

あて先

米国務長官 駐日米国大使 米国務省日本部長 在沖米国総領事